



旧中島家住宅 へっつい通信 vol.1

発行：市民とともに行う栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会

発行日：2015 年 4 月 22 日（水）



いよいよ平成 27 年度 旧中島家住宅かまど(へっつい)再生事業始まる

平成 27 年度がスタートし、昨年度から行ってきた旧中島家住宅かまど(へっつい)再生事業がいよいよ本格的に動き出しました。

かまどの材料は、土と藁スサを混ぜ合わせて発酵させた土です。4 月 15 日(水)には、事業の実行委員会メンバーで古い畳を解体し、材料にする藁を取り出す作業を行いました。また、翌 16 日(木)には、栗東市下戸山の田んぼから小型ショベルカーを使って土を取りました。土は旧中島家住宅横に設けた、“フネ”と呼ばれる枠に入れ、前日に取り出した藁スサ、水と混ぜ合わせました。

この後、週 1 回ペースで土を混ぜなおす作業を行い、土の発酵を進めていきます。



▲実行委員会による土作り作業(4月16日)

4 月 19 日(日)、かまど再生事業に参加して下さるサポーターのみなさんを対象にした事業説明会を行いました。

サポーターに登録いただいたメンバーは、多士済々。栗東市内はもちろん、滋賀県・京都府の 8 市から 88 名が登録されています。説明会にはそのうち 62 名の方が参加されました。

この事業は、旧中島家住宅が位置する栗東歴史民俗博物館が中核となり、栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会、農業団体 21 東坂、NPO 法人碧いびわ湖の 4 団体が構成する「市民とともに行う栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会」という長い名前の実行委員会が主催しています。説明会では、はじめに実行委員会から旧中島家住宅やかまどの説明を、次に昨年度実施したかまどの 3D 計測データを、調査された岡本篤志先生(大手前大学史学研究所研究員)に上映・解説していただきました。



▲宮奥淳司さんによる工程説明

また、実際のかまどの築造作業を監督していただく、宮奥淳司さん(宮奥左官工業一級左官技師)から、各工程の詳しい内容について紹介をうけました。

その後、旧中島家住宅に場所を移し、現行のかまどを使った最後のかまど炊飯をサポーターのみなさんとともに体験しました。

炊き上がったごはんは、おにぎりにし、かまどで作った味噌汁とゆで卵もあわせ試食しました。

旧中島家住宅では、サポーターのみなさんが自己紹介、参加された動機の紹介をされました。「かまどを作ってみたかった。」「学校で旧中島家住宅に来て、かまどの火吹き体験をし、かまど作りに参加したくなった。」「アフリカで日本式かまどを広めた方と一緒に仕事をしたことがあって、興味を持った。」「家族でかまどを作ってみたが上手く出来なかったため、かまどの作り方を知っていた。」「など、興味深いエピソードを交えて、お話しされました。



▲炊きたてのごはんはおにぎりに



▲みんなで試食しました



▲参加者・スタッフで記念撮影

次回のかまど再生ワークショップは
五月二十三日(土) 二十四日(日)です。
登録された方はよろしくお申し込みします。
そのほかの方も見学自由です。

関連行事のお知らせ

特集展示 湖国のヘッツイさん (仮題) 会期：9月19日(土)～11月3日(祝・火)

於：栗東歴史民俗博物館 第二展示室



かまど(ヘッツイ)再生事業にあわせて、栗東歴史民俗博物館において、かまどに関連した展覧会を開催します。

生活に密着し、使われてきたかまど。かまどの形や作られ方には、暮らし方、住まい方による必然から、地域による特徴が表れます。展覧会では、古代を中心としたかまどに関連する考古資料や、これまでの調査のなかで明らかになった、滋賀県や栗東市でのかまどの特徴を紹介します。また、かまどには暮らしに密接に係わるからこそ、様々な信仰や言い伝えがあります。こうした信仰についても、あわせて紹介します。

- ◀ (左) 旧中島家住宅かまど脇に貼る火伏せのための愛宕さんのお札
- ◀ (右) 上砥山(栗東市)で行われる愛宕講の様子

かまど(ヘッツイ)再生記念事業

日時：10月12日(祝・月) 10:00～16:00(時間は予定)

於：旧中島家住宅・栗東歴史民俗博物館 研修室



かまど再生サポーターのみなさんとともに再生させる、旧中島家住宅のかまどは、8月8日(土)の表面仕上げの工程が終了すると、しばらくの間、乾燥させるための養生期間に入ります。

実行委員会では、10月12日(祝・月)に、再生されたかまどをお披露目したいと考えています。この日は、記念事業として伊勢大神楽(獅子舞)による、竈祓い(かまどばらい)や曲芸などの伝統芸能を上演していただくほか、かまどに関連した信仰、愛宕信仰に関連する講演などを行う予定です。

また、再生されたかまどを、どのように活用するか、かまど再生サポーターのみなさんの要望やアイデアをお聞きする機会も設けたいと考えています。

さらに、ワークショップの工程を記録した、パンフレットを作成し、かまど再生サポーターのみなさんにも配布する予定です。ぜひ、日程を調整していただき、かまど尽くのかまど再生記念事業にご参加ください。

▶ 伊勢大神楽(獅子舞)による竈祓い(かまどばらい)

かまどがなくなりつつある近年では、ほとんど目にするができなくなっている、伊勢大神楽(獅子舞)による竈祓い(かまどばらい)。



かまど再生事業に関するお問い合わせは…

市民とともに行う栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会
(事務局)栗東歴史民俗博物館 〒520-3016 滋賀県栗東市小野 223-8

TEL 077-554-2733 FAX 077-554-2755

E-mail hakubutsukan@city.ritto.lg.jp